



◆日程: 10月6日(金) ◆場所: オンライン

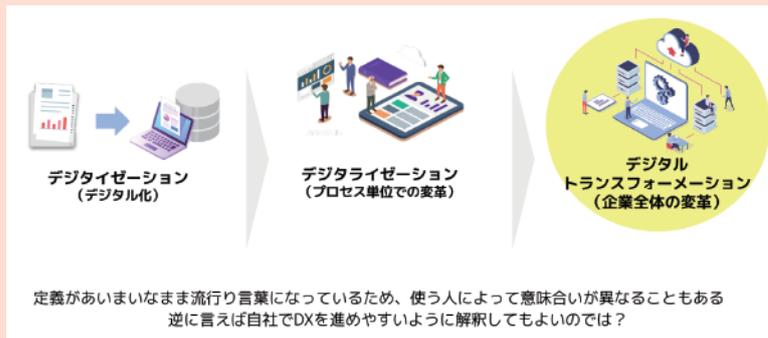
◆講師: 株式会社ワクフリ 経営戦略室 下坂 恵夢氏

プロフィール: セールス・クライアント支援など幅広く従事。クライアント支援では幅広い業種を担当し、セールス職として年間 60 件以上の DX・業務改善に関する相談を受け付けている。

第3回講座では、IT 基礎をテーマに「DX の進め方や企業事例」について学びました。DX とは Digital (デジタル) + Transformation (変化) の略で、「進化し続けるテクノロジーが生活をより良くしていく」という概念として登場。現在、DX 人材の不足数は増加傾向にあり DX を学ぶ意義は非常に高いといえます。混同されやすいですが、DX とは、IT を利活用した変革ですが、IT 化とは異なります。

定義の要約

- デジタル活用によりビジネスモデル、業務、組織、企業文化等を変革し競争上の優位性を確立すること
- データやデジタルを活用してビジネスに変革を起こし、収益を伸ばすための仕組みを作り、企業の新たな強みを確立すること
- デジタル技術による変革で新しい価値を生み出す世の中、組織になることその結果として競争上の優位性を確立すること



【テーマ1】なぜDXに取り組む必要があるのか

DX に取り組むことのメリットと、取り組まないリスクについて学びました。DX には無関係な会社はなく、メリットやリスクを考えると否が応でも取り組まなければいけない状況になっています。

DXに取り組むメリット	取り組むべき必要性
<ul style="list-style-type: none"> ① 業務の生産性と利益率も向上につながる ② 消費行動の変化に対応したビジネスにつながる ③ BCP (事業継続計画) の充実につながる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営者目標 業務効率化による人手不足の解消、働きたいと思える魅力ある企業への変化による採用力や定着率の向上。 ● 地域目標 地域企業のサービス向上による生活圏の向上。働くことに対する選択肢の多さ。住む人達にとって豊かな社会が作れる。 ● 従業員目標 働くことを通じて自分が成長できる環境を作ることができる
DXに取り組まないリスク	
<ul style="list-style-type: none"> ① 既存システムの保守費が高額になる ② 市場の変化に対応できず倒産リスクが高まる ③ データの喪失やブラックボックス化 	

【テーマ2】DXの正しい進め方

DX プロジェクトの成功要因は DX 人材。DX 人材の要件として、正しい知識と手順を身につけることが重要になるということをお話いただき、合わせて具体的な DX の成功事例を紹介していただきました。

成功事例が押えていたポイント

課題や目的を明文化
なぜ実施する必要があるか? という目的と、そのために解決すべき課題が明文化されており、組織内での共通認識を持ちやすく、周囲からプロジェクトへの理解も得られやすい。
目的や取り組むべき課題が明確なため、「思っていたことと違う」といった状況に陥りにくい。

推進力のあるプロジェクト体制
デジタルに精通していない経営層自身が率先してリーダーシップを取り、プロジェクトを推進。推進する中で積極的に社内やベンダーとのコミュニケーションを取ってトラブルを未然に防いだ。部門間を飛び越えたコミュニケーションが取れるような影響力の高いメンバーがプロジェクトに参加していたのもポイント。

周囲や外部の知見をPMメンバーが取り入れる
意思決定者の独断に依存したり、メンバーだけでなんとしてもせず、外部パートナーをはじめとする外部の知見や、社内の現場からの意見を積極的に取り入れることで、最適な解決策やそれによる成果の最大化も図った。
様々な意見を取り入れることは、サービス・ツールや導入方法の比較検討に繋がり、効果的。

【テーマ3】DXを推進できる人材に求められる力

ロジカルシンキングスキル	なぜそうなのか? を論理的に考える力
プレゼンテーションスキル	なぜやるのか? を相手に伝える力
ファシリテーションスキル	周りを巻き込みDXを推進する力
ヒアリングスキル	現場の現状を正しく聞く力
DX人材には必要なスキルといえます	

DX 人材には必ずしも IT のスキルが必要ではありません。現状の可視化やメンバーの巻き込み力など、それぞれのフェーズごとに求められるスキルは変わります。DX 人材に必要なスキルを正しく理解することが重要です。変化が予測不可能な時代の今は、何をどうやって実行するかといった力が求められます。

【まとめ】

今後皆さんが目指す働き方を実現していくためには DX は不可欠なものになります。DX の重要性を理解し、DX に関する知識やスキルを身につけて、活躍の場を広げていただきたいと思います。講師よりエールをいただきました。